

soda ▶ chia ▶ i

grow each other

Lead【ニュース】

◇ まんぷく Café ◇ 8月19日(金)

8月19日のまんぷく Café は、それまでとは少し違うテイストで「ミニ縁日」を行いました。



ささえる



集う



できることをする



楽しむ



お盆休み中のため、参加者は少なかったですが、親子共々、ゆったりと過ごすことができました。現在、全国的に広がりを見せる「子ども食堂」は、子ども6人のうち1人いるといわれている「貧困対策」がメインテーマで、そうした家庭の“繋がり”や“支え”をつくるための活動です。

たいむでも、こうした活動に広げていきたいと考えていますが、我々が行う活動では、“遊びを通じた新たな地域の繋がり”や“災害時の寄り処”という側面も打ち出し、単なる「貧困者」だけに留まらない支援のカタチにしていきたいと考えています。

* 次回【9月16日(金)】のメニューは、P ボトルピザ、ミネストローネスープ、お月見デザート、災害時の非常食(レトルト)などを予定しています！(石井)

あわせて、まんぷく Cafe ボランティア募集・食事作り・子どもと遊ぶ・見守りおしゃべりする

➡詳しくは、Facebook : <https://www.facebook.com/manpukucafe/> もしくは、たいむスタッフまで。

■ 学生とのかかわりから ■

学生のなかには、子どもたちとのかかわりの他に、プライベートな話であったり、時には悩み事であったりと内容は様々ですが、スタッフと話をするためにたいむに来ることがあります。(昨年の今頃の時期と比較してみると、学生の来室者数も増えています。)

1・2年生共に、廊下や図書館で子どもたちと触れ合ったことがきっかけで、たいむに遊びに来るようになりました。スタッフと初めて話をする学生もいますが、みんなの元気な様子を見てみると、スタッフも自然に笑顔になっています。



8月のまんぷく Café では、今年の石井ゼミ生(2年生)とも交流がもてました。イベントに楽しそうに取り組む姿や元気な声がとても印象的でした。そればかりではなく、とても頼りになり心強かったです。最初は何をしたらよいのか、どうすればよいのかと戸惑った様子で、学生同士で話すことが多く見られていました。しかし、子どもたちとのやりとりや調理の様子など、些細なことが会話の入口となり、保護者の方との会話に笑顔が見られるようになりました。

保育実習では保護者の方とのかかわりはないので、実際に近くに保護者の方がいると緊張してしまうようです。たいむで様々な体験をすることにより、人とかかわり方・話し方などの社会性も身につけることで、学生たちの自信につながっているように思います。

これまで学生と一緒にイベントを行うことはあまりなかったので、今回一緒に行えたことで新しい関係が作れるのではないかと期待しています。学生の立場であつたら、たいむのスタッフや室内の様子・雰囲気はどうなのかなど、気になることや不安になることはたくさんあります。ですから、こういった機会に学生たちと直接かかわりをもつことで、信頼関係も成り立つかもしれませんし、たいむにも足を運びやすくなるかもしれません。そうすることで、少しでも不安が取り除けるのではないかと思います。

一方、学生側だけでなく、保護者の方にも同じことがいえると思います。初めての子育て支援施設や病院などに行く際、『どんなところなのか。どんな人たちがいるのか・・・』など、不安を抱えつつも勇気を出して足を運んだ方も多いかと思います。そういう時のスタッフの対応や表情などの第一印象、コミュニケーションのほかり方で、その場所と人の印象が決まってしまう。『来てよかった。』『また行ってみよう。』と思える場所になるよう、普段の行動や言動など日々を振り返り、スタッフ自身が心がけていかなければなりません。

まんぷく Café 中に石井ゼミ生が、「普段のたいむにも行ってみたい」と話していました。やはり、かかわる前と実際にかかわりをもった後では、たいむへの見方が少し変わったようです。今よりも《みんなの拠り所》になれるように、学生たちから来てくれるのを待つのではなく、スタッフ側も話しかけやすい雰囲気を心がけたり、学生たちと気軽に話せるようにしたり、臨機応変にアプローチをしていこうと思います。(本田)

◇ ザリガニ・カブトムシ・クワガタも飼育しました！ ◇

学園本部の事務局長より、夏休みの始めにザリガニ・カブトムシ・クワガタをいただきました。

「生き物はいつか必ず死を迎える。どんなに小さな生き物にも命があるのだから、飼育をしながら命の大切さを学べたらなって思いますよね…」とおっしゃっていました。初めて見る姿に恐る恐る近づき、目を背ける子、「ぼくも捕まえたよ。」「家では梨をあげているよ。」と男の子からは様々な反応が見られました。女の子はというと、そっと見守る姿が印象的でした。大人にとっては「うーん…」と思う生き物も、子どもにとっては発見の連続。我が家は昨年カブトムシの卵が生まれ、今年羽化に成功しました。子どもたちと貴重な体験をすることができました。

夏から秋へと季節が移り変わり、秋の虫も見かけるようになりました。たいむの帰り道にでも子どもたちと虫探しをしてみるのもいいかもしれませんね。（村上）



9月から新しい仲間オオクワガタのペア登場予定！

◇ ちょっとおやつに…かき氷 ◇ 8月23日(火)



先日のまんぷくCAFEでかき氷をやったので、スタッフ間で「普段のたいむでもやりたね」という話になりました。「みんなでかき氷を食べよう！」と子どもたちに声をかけると、「食べるー！」とどの子も元気に答えてくれました。スタッフがかき氷機で氷を削っている様子をじっくり見ながら、順番を待つ子どもたちがとても微笑ましかったです。

いちご・レモン・ブルーハワイ、ふわふわの氷にお好みのシロップをかけると、みんなが「つめたい！」と言いつつも美味しく食べていました。なかにはシロップをミックスしている子もいて、「かき氷が変な色になっちゃった…混ぜるのやめよう…」と子どもたちは苦笑い。しかし、『色を足すことで色が変わること』、『こうするとこうなった。だから次はこうしよう』という気づきがありました。

食べ物で遊ぶことや行儀の面を考えると良いことではないのかもしれませんし、つつい大人の方から先回りして『あれはやってはダメ』と言ってしまいがちだと思います。しかし、今回のように子どもたちが自分で実際に体験して気がついた様子を見ると、時にはこういった経験から学ぶことも必要なことだと感じました。自分で体験して学んだことを次に活かしていくということは、生きていく上でとても大切な力だと思います。何気ない子どもの行動や言動に、大人も子どもたちから学ぶことは本当にたくさんありますね。（本田）

◇ ぱうぱう（ウーパールーパー）、今日も元気です！ ◇

久しぶりの成長報告になりますが、この1年の間に随分と大きくなり、相変わらず元気に過ごしています。嬉しいことに、『ぱうぱう』『うーぱーうーぱー（小さな子にはウーパールーパーが難しいようです）』として親しみを込めて可愛がってもらっています。

ウーパールーパーは暑さに弱いので、水温の管理をするために、今年の夏休みもスタッフの自宅にて過ごしました。たいむに水槽が置いていないので、「ぱうぱうは？ どうしたの？」と、みなさんが心配してくれます。水槽のところに「ぱうぱう、おでかけ中」の貼り紙をしていますが、もう少ししたら帰ってくるので楽しみにしててください。



しつこいようですが！まんぷく Cafe ボランティアを募集中！

・食事作り ・子どもと遊ぶ ・参加者を見守る

まんぷく café は、地域の親子が集い食事や遊びを通して「団らん」することで、貧困や孤育を解消し、防災や子どもを縁とした地域コミュニティづくりをしようとする活動です。ご賛同いただきお手伝いいただける方を募集しています。また、お知り合いでもご興味のある方がいらっしゃれば、お声掛けいただけると幸いです！

➡詳しくは、Facebook：<https://www.facebook.com/manpukucafe/>もしくは、たいむスタッフまで。

○ お月見をしよう ○

季節の行事、秋といえば十五夜お月様！《今年は十五夜が15日(木)・満月が17日(土)》ということで、満月直前のお月様をまんぷく CAFEの時間にみんなでながめませんか？

【日 時】 9月16日(金) ※事前に予約をお願いいたします。

【場 所】 たいむ

【料 金】 まんぷく CAFEの食事代のみ

【持ち物】 個々に必要な物

■ フェルトでドーナツを作ろう ■

たいむのままごとコーナーにある、フェルトのドーナツを作ってみませんか？

自宅で作るもよし、たいむで作るもよし、自分のペースで作れます。お気軽にスタッフにお声かけください。

【日 時】 9月12日(月) ～ 9月23日(金)

【場 所】 たいむ

【料 金】 1個 … 150円 (ドーナツは1個ずつキットになっています)

【持ち物】 はさみ・針 (糸はキットに入っています)

